

- ・ 前回のミーティングから、年度区切りの4月を迎えて、もくもく会の形を変えて開催されたり、各メンバーの生活リズムに変化が生まれるなど、皆が10プロにどう向き合うかという問いを投げかけられてのミーティングだった感覚があります。

陽子さんがミーティングで話していた「自信がないのは、サンプルに練習が足りないから」という話については、同じ様な採用の場面で、スキル面の不足については、迷いがなかったこと、一方でメンタル面については、不安を大きく感じたことを思い出しました。

これは、自分の知識も経験値も多くなった分、「解決出来る」という認識が出来るようになったからなんだと思いました。

一方でメンタル面については、10プロの中で勧められた読書や関連したアウトプットを通じて、少しずつ知識を積み重ねている感覚もありますが、いざ困った場面になるとスムーズに言葉が出てこなかったり、考えてしまったりと「行動」に結びつかないのは、まだ練習の過程という自分の状況を表しているんだなと思いました。

後半はミーティングの形をどうするかということも話し合いました。

正確な議事録を書こうとする方に比重が高くなっていたり、系の固定化でミーティングの発展の可能性を狭めていた部分もあるなど、陽子さんのコメントを聞いて改めて思いました。

次回のミーティング、そして合宿という特別な時間に向けて、そのものへの準備もありますが、「やらない」という選択肢を取らずに、日頃のコミュニケーションももっと取っていきたいです。

(A.S 40代女性 北海道)